

開催月日 : 平成29年 6月21日(水)

平成29年度第13回  
定期巡回・随時対応型訪問介護看護連携推進会議


時 間	14:00 ~ 15:00	場 所	グッドライフケア港支店
司 会	今口 友紀	書 記	落合 康雄
出席者	麻布地区高齢者相談センター:主任介護支援専門員 佐藤 志穂子		
	高輪地区高齢者相談センター:管理者 主任介護専門員 江夏 みず穂		
	民生委員 : 野村 知義		
	ジャパンケア港:介護専門員 東野 桂林		
	ジャパンケア渋谷:管理者 介護支援専門員 高野 文子		
	マイ・ケアプランセンター東京: 介護支援専門員 白石 直也		
	グッドライフケア居宅介護支援センター 港 : 介護支援専門員 篠原 真貴		
	グッドライフケア居宅介護支援センター 港 : 介護支援専門員 宮澤 玲奈		
	グッドライフケア訪問看護ステーション千代田:管理者アセスメントナース 坂元 あづさ		
会議内容	グッドライフケア24 : 管理者・計画作成責任者 今口 友紀		
	グッドライフケア24 : 計画作成責任者 落合 康雄		
	1. 開会の挨拶		
	グッドライフケア24 管理者 今口 友紀		
	2. 参加者紹介		
	自己紹介		
	3. サービス状況報告		
	グッドライフケア24 管理者 今口 友紀		
4. 事例発表			
グッドライフケア24 管理者 今口 友紀			
5. ご意見・講評など			
6. 閉会の挨拶			
グッドライフケア24 管理者 今口 友紀			

詳 細

2. 参加者紹介
順に自己紹介していただく
3. サービス状況報告
平成29年3月～平成29年5月までのサービス実施状況を確認していく。
区域を住所ではなく、高輪地区、芝浦地区など区域でわけて地域ごとにわけてみる。
平成28年6月～平成29年5月までの実績データを集計し、グラフ化。項目にわけて比較してみる。
実働件数がまだ少なく、データとしてはあまり参考にできない。
項目として定期で1回あたりに訪問している時間・実施しているサービス内容別にわけて参照してみるのもいい。
定期だけではなく、その他のデイサービス等のサービスを利用しているか比較してみるのもいいのではないか？
4. 事例発表
基本情報の確認。薬が飲めていないため毎日1日2回服薬で訪問していた。
皮膚トラブルがあり、有護師指示のもと毎日患部の処置を行う。有護師とはスマートホンを利用し患部の状態
を確認するために写真を撮って状態を確認。医師の指示書のもとヘルパーに処置の指示をうける。
毎日定期で訪問しているため、患部の状態観察を行うことができた。患部の状態が悪化するなど状態変化に伴い訪問看護の導入を検討することになる。傷口の発見するタイミングが難しい。
訪問看護は医師と連携し指示書を頂いてからヘルパーに処置の指示をだしている。
5. ご意見・講評など
定期巡回サービス、住まい(住所)によっては来てもらえないのではないかと？港南地区など。
芝浦や港南など手薄に感じる。港区全域訪問可能。
ただし港区はグッドライフケアとジャパンケアの2社のみで選択肢がない。
5年後、10年後と手厚くするには？退院食後など状態を観察するには定期巡回サービスを考える。
定期巡回サービスの説明をすると、いいサービスと納得されるが緊急時に使用する鍵をお預かりすることを説明すると壁ができてしまう。鍵の件でサービスに繋がらないことがある。鍵の件は今後の課題である。
職員が定着しない。定着させるためには？人材の育成・サポートする体制・環境作りが必要である。
職員がいなければ、サービスはあっても運用することができない。国の補助はないのか？
港区の高齢者率は約17%と他区と比較すると少ない。特養ベッド空いている。
利用者からお茶を勧められ、断りきれず飲むと薬が入っていることもある。
次回 開催日程 平成29年9月 13日 (水) 14:00～15:00